

第11次 東北被災地支援

—ご協力に感謝申し上げます—

東日本大震災・原発事故から今年の3月11日で丸7年となります。この期間、多くの皆さんにご協力をいただきながら被災地支援を継続することができました。昨年末(12月26・27日)には、第11次となる支援へ。今回も多くの皆さんのご協力をいただきました。あらためて感謝申し上げます。



▲2013年1月



▲2016年12月
(いずれも宮城県石巻市にて)

区政アンケート

1500通を超える

日本共産党中野区議団では区民の皆さんの願いを区政へ届け、今後の政策に反映させるため、区政アンケートを実施しています。昨年10月末の開始から2ヶ月で1500名を超える方から回答をいただき、現在、中間集計をおこなっています。アンケートは2月末まで実施していますので、ぜひ、ご協力をお願い致します。

日本共産党中野区議団のHP▶
(アンケートページ)



浦野さとみの区政報告

日本共産党 元中野区議会議員



ほっこり通信

No. 71

「何でも無料生活相談」
お気軽にご連絡ください

e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

●ホームページ

浦野さとみ 検索

●Twitter: @urano_satomi

●Facebook: 浦野さとみ

聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



ほっこりコラム



昨年12月から、以前、勤めていた中野共立病院リハビリ室で週2日、勤務しています。作業療法士として、約7年ぶりの現場で不安も多々ありますが、現場に学びながら、患者さん中心の

医療のため、精一杯、頑張りたいと思います。その他の日は、基本的には日本共産党中野地区委員会勤務で、これまで通り、様々、地域での活動を続けています。あらためまして、今後とも、よろしく願い致します。



中野共立病院前にて▶

新年にあたり



2018年がスタートしました。いま、政治のあり方や政治家の資質が本当に問われていると思います。政治を私物化するなんて、とんでもありません。また、政治家自らの私利私欲のために政治があるのではありません。皆さんが、くらしやご商売が大変な中で懸命に納めている税金や保険料、「私達のくらしのために使って欲しい。無駄遣いはやめて欲しい」これは、区政・都政・国政のいずれにも共通する、願いではないでしょうか。

中野区の貯金(基金)総額は、2016年度決算で679億円にのぼり、区政史上最高額となっています。今後、中野区は中野駅周辺をはじめとする大型再開発や平和の森公園再整備などを進めようとしています。しかし、いずれにおいても大前提となる住民合意はありません。100億円以上のお金を投じてまでおこなう平和の森公園再整備は見直すべきです。区民の声がしっかりと届き、いきる区政へ。2018年も一緒に力あわせませう。



2018年1月1日 浦野さとみ

区議会定例会のお知らせ(予定) 2月16日(金)~3月28日(水)

上記日程でおこなわれる予定の区議会定例会は、新年度予算を審議する議会となります。区役所3階、区議会事務局にて手続きをおこなえばどなたでも傍聴できます。ぜひ、お出かけ下さい。

- 本会議: 2/16、20、21、22、3/12、28
- 予算特別委員会: 2/23、27、28、3/1、2、9
- 予算分科会: 3/5、6、7
- 常任委員会: 3/14、15、19
- 特別委員会: 3/20、26

陳情・請願メ切は、2月7日(水)午後5時です。

浦野さとみプロフィール

1980年9月生まれ(37才)・千葉県松戸市出身。2003年千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒(作業療法士)、中野共立病院・リハビリ室へ入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月に、8年間勤めた病院を退

職し、区議会議員選挙立候補、初当選。2015年区議会議員2期目当選。厚生委員会委員長、都市計画審議会委員、区議団副幹事を歴任。2017年都議会議員選挙(中野区選出)立候補、議席に届かず。現在、日本共産党中野地区委員会・中野共立病院リハビリ室勤務。趣味: 竹富島への旅行・ゆずのライブへ行くこと・ソフトボール。

就学援助

新入学準備のための費用 前倒し支給 中野区でも今春から実施へ



就学援助とは、「公立の小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者を対象に、学用品など学校で必要な費用の援助」をする制度です(対象基準があり、現在、小中学校あわせ約5人に1人が利用しています)。

クラブ活動費や学用品費、給食費など複数の費目がありますが、この中で「新入学学用品費」について、入学前の支給が中野区でも実施されることになりました。

これまでは入学後の6月頃の支給であり、中

学校の場合は制服代など、保護者にとっては一時的に大きな金額を負担しなくてはならず、入学前の支給が大きな要望になっていました。

これまで、党区議団として、切実な保護者の声を伝えながら、繰り返し、前倒し(入学前)の支給を求めてきました。また、議会に対しても陳情が出されてきました。就学援助制度の改善点はまだまだありますが、皆さんと一緒に得た要求実現へ大きな一歩です。

自治体として、大切なことは…

区民の声にきちんと耳を傾けるべきです

!Point!
地方自治法では

第一条の二 「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と記されています。
※「福祉」とは、幸福な生活環境を公的扶助によって作り出す・1人ひとりが受ける充足や安心を意味します。

つまり 「中野区が行政として、区民が安心して生活できる環境をつくっていくこと」が基本になります。

しかし この期間、あまりにも区民の声を聞かない区政運営になっています。
23区でも緑・公園の比率は最下位クラスであるにも関わらず…

平和の森公園や哲学堂公園「再整備」の名のもとで、貴重な緑と公園スペースが…

区立公園を閉鎖・縮小して保育施設建設…

もっと、私たちの声をきちんと聞いて欲しい…



平和の森公園

低・中・高木あわせ
17000本 以上の伐採



「再整備」という名のもとで、新体育館建設とあわせ、草地ひろばに300mトラック設置、少年スポーツ広場をつぶして多目的広場整備、バーベキューサイト設置等が予定されています。現在の平和の森公園は、長年の区民の合意形成のもとに作りあげられましたが、今回の計画はこうした歴史的な経過にも反しており、また、区民や議会への情報提供のあり方等にも問題があること等を繰り返し指摘し、質してきました。何よりも、「緑とひろばはそのままに」という多くの声に、背を向け続けている姿勢は許されません。



▲多くの方に愛されている草地ひろば

住民監査請求が提出される

「緑とひろばの平和の森公園を守る会」会員が、今回の再整備工事によって、①樹木伐採による緑の減少、②トラック設置による遊び憩える安全な場の減少、③バーベキューサイト設置による公園内外の環境悪化、④貴重種生物の喪失という点で、「財産の管理を怠る事実」があるとし、住民監査請求書を中野区監査委員に提出しました。もし、この請求が却下された場合は、住民訴訟を提起するとしています。 ※昨年12月20日 現在

哲学堂公園

児童遊園スペースは約4分の1に..
ヒマラヤ杉は7本すべて伐採



哲学堂公園再生整備基本計画(案)が、昨年10月に議会に報告されました。中野区の新たな都市観光の拠点として…整備とあり、その中心となるものが、現在、駐車場・売店・児童遊園があるエリアに学習展示施設を新設する案となっています(図1)。

その新設される学習展示施設の周囲に、駐車場・児童遊園などの既存機能は再配置すると記されていますが、児童遊園は現在の規模からかなり縮小され、児童遊園内にある7本すべてのヒマラヤ杉は伐採するとしています。

「子どもが遊ぶ貴重なスペースが減ってしまうのは困る」「現在の児童遊園スペースは地域の交流の場になっている。朝には100名近い方がラジオ体操で集まっている」「大きく育った木々が伐採されてしまうのはおかしい」「毎日、子どもを連れて遊びに来ている。中野区はいまでも緑が少ないのに、木を切ってしまうなんて…」 「児童遊園はそのままにして、学習展示は既存施設をうまく活用することで検討できないのか」等、公園利用者や近隣住民からは、「貴重な児童遊園スペースは、いまのままで」との声が大きくあがっています。



▲現在の児童遊園(写真中央は7本のヒマラヤ杉)

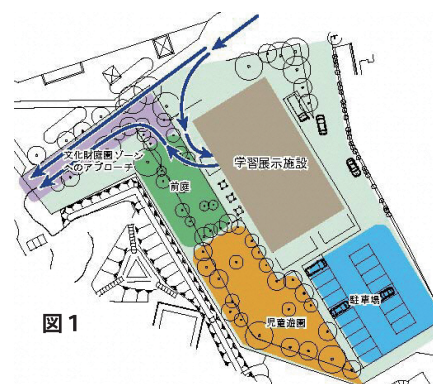


図1

新井南公園 上高田公園など



区立公園内に保育施設

中野区は緊急対策として、7つの保育施設を区や都の公有地に整備するとしています。この中には、区立公園が3カ所(新井南・上高田・江原)含まれおり、そのうちの1つである新井南公園は公園全体を約2年9ヶ月あまり利用休止して(準備・原状回復期間含め)、整備するとしています。保育施設は2年間の暫定利用(2階建てで高さは約7m、約50名の定員を予定)とはいえ、あまりにも唐突です。地域説明会は開かれましたが、住民の声は聞き置くだけで、すでに、公園は利用休止となり工事が開始されています。

待機児童対策は当然必要ですが、一方で、区は廃校とした区立桃丘小学校や東中野小学校(約3分の2)を売却するなどしてきました。公園利用を休止しなくても、必要な対策はとれたのではないのでしょうか。



▲新井南公園



▲上高田公園

(いずれも昨年12月中旬撮影)